

自主夜間中学校の学習環境充実および活動の対外的広報活動の実施

一般社団法人 岡山に夜間中学校をつくる会

活動の目的

本会の活動を通し、学びを必要とする人々や学び直す機会が得られなかった人々へ安心して学べる「学びの場」を提供する。初めての公立夜間中学生徒との交流会を通して、同じ立場で学ぶ学友との交流を深める。また、通常の教室活動に加え、対外的に岡山自主夜間中学の活動を広く知ってもらう機会を作り、生きづらさを感じる人が学びを通して一人でも減ることを目指す。

活動の内容及び経過

- ①10月26日に、奈良市立春日中学校夜間学級の生徒達と奈良と岡山の中間に位置する姫路で交流会を実施した。
- ②2月1日に、岡山コンベンションセンターで「馳浩講演会 & シンポジウム」を開催した。

活動の成果・効果

- ①普段、生徒たちは課外活動や学外との交流の機会もほとんど持てない中、奈良市立春日中学校夜間学級の生徒達との交流会を行うことで、ともに学ぶ生徒同士の交流機会を持つことができた。最初はぎこちなかったが、一緒に明石焼きを作ったり、姫路城見学をしたり、また両校代表の発表や意見交換をする中で、ともに自主、公立の夜間中学の違いはあれど、学びあう同士として打ち解けあう様子が見られた。振り返りでも、「貴重な経験ができた」「参加できて友達もできた」と、生徒から喜びの声が寄せられた。
- ②講演会当日は、約150名の来場者が集まり、馳浩夜間中学等義務教育拡充議員連盟会長に「義務教育機会確保法成立の背景と今後の課題」のテーマで、「夜間中学設置が求められる理由」「文科省の方針」「自主夜間中学への支援」等について講演をしていただいた。その後第二部のシンポジウムでは、「岡山市ニーズ調査をふまえた自治体・岡山に夜間中学校をつくる会の果たすべき役割」について、本会の活動や役割について議論することができた。本会の2つの目標である学校教育としての公立夜間中学設置と、社会教育としての自主夜間中学の継続、それに対する行政の役割についても、来場者を含め活発な議論ができた。

今後の課題と問題点

- ①今回の姫路交流会は、岡山・奈良双方にとって日帰りできるところで地理的な中間点として姫路にした。交流会自体は、生徒達から好評であったが、後日感想を聞いたところ、一部の生徒から「自分たちが学んでいる岡山自



主夜間中学校で一緒に学んだり、岡山を案内したりしたい」、または「公立の夜間中学校がどのようなところなのか見てみたい」「公立の春日中学校と一緒に学んでみたい」という意見もあった。

また、場面によって急に双方の生徒同士でペアを組ませたりしたことで、何を話せばよいかわからず最初は困ったという意見もあった。

- ②今回の講演会では、登壇者の予定がなかなか確定せず、予約できる会場が制限されたことや、広報活動の期間が十分取れなかった。そのようなこともあり、昨年度の講演会より集客に苦労した点は、今後の課題である。

●代表者：城之内庸仁 ●所在地：岡山市北区南方
●TEL：090-2862-4400 ●E-MAIL：noby1009@gmail.com
●URL：https://oka-yachu.jimdo.com/
●設立年：2017年 ●メンバー数：319名